

延長保証保険/リフォームワイド

# 現況確認マニュアル

～鉄筋コンクリート造～



株式会社 ハウスジーマン

## 目次

1. 基本的なルール.....	3
(1) 現況確認のタイミング.....	3
(2) 現況確認の実施者.....	3
(3) 現況確認の対象.....	3
(4) 指定箇所の写真撮影.....	3
(5) 報告書の作成.....	4
2. 確認の対象.....	5
(1) 戸建住宅.....	5
(2) 共同住宅.....	6
3. 具体的な確認内容.....	7
(1) 建物外部共通の確認項目.....	7
(2) 建物内部共通の確認項目.....	10
(3) 建物の内外にコンクリートの露出がある場合の確認項目.....	11
4. 指定箇所の写真撮影.....	12
(1) 撮影箇所一覧.....	12
(2) 撮影イメージ.....	12

### 現況確認と本マニュアルの位置づけ

現況確認とは、保険の利用にあたり建物に補修が必要な顕在化した不具合が生じていないかを、確認するために実施するものです。

本マニュアルは、延長保証点検ガイドラインに規定する現況確認の具体的な実施方法を説明するもので、保険を利用するうえで最低限の確認内容を記載しています。

住宅事業者ごとの判断で、より踏み込んだ確認を行うことを妨げるものではなく、より踏み込んだ確認を行った現況確認については、保険の手続き上有効なものとして扱います。

# 1. 基本的なルール

## (1) 現況確認のタイミング

延長保証保険 外装リフォームワイド	メンテナンスコース・標準 type	メンテナンスの着工前
	検査コース/メンテレス利用時	保険の申込前
リフォームワイド	共通	リフォームの着工前

## (2) 現況確認の実施者

このマニュアルに従っての実施を前提としますが、**実施者の保有資格は問わないため**、どなたでも実施できます。

検査特例を利用する場合も、状況調査技術者の検査特例を利用する場合以外は、実施者の資格を問わないため、社内のリソースを有効に活用できます。

## (3) 現況確認の対象

戸 建 住 宅	
	建物外部と居室内の全体が確認の対象となります。確認は建物の外周部と居室内、バルコニーや屋上から見える範囲で行います。安全性の観点から、屋根に上っての確認は求めていません。
点 検 口	戸建住宅の現況確認では、点検口から覗き込んでの確認が必要です。点検口がない場合やあっても断熱材等で内部の確認ができない場合は、保険に加入できないため、事前に設置が必要です。  例外として、勾配天井のため小屋裏空間がない建物や、土間床のため床下空間がない建物では、確認対象部分が露出しているため、点検口からの確認は不要です。

共 同 住 宅	
建物外周部と屋上のほか、建物の規模に応じて次の階の共用廊下等の共用部から確認できる部分を対象に行います。	
	階数 3 以下 全ての階
	階数 4 以上 最下階とその1つ上の階、最上階、最下階から数えて3に7を加えていった階(10階、17階…)
住 戸 内 の 確 認	住戸に立ち入る必要はなく、住棟内の住戸に雨漏れ等が発生していないか、住宅所有者や管理組合、管理会社にヒアリングして確認するため、各住戸の居住者とスケジュールの調整を行う必要はありません。
二世帯住宅の取扱い	完全分離型の二世帯住宅は、現況確認では戸建として扱うため、住戸内の確認も必要です。

### デジタル技術を活用した確認について

このマニュアルでは、目視での確認を前提としています。次のようなデジタル技術を活用した方法での確認を、住宅事業者ごとの判断で実施することを否定するものではありません。

- ・点検口からスマートフォンを差し込んで、小屋裏や床下の状況を確認
- ・自撮り棒に取り付けたスマートフォンで、小屋裏や勾配屋根の状況を確認
- ・ドローンを飛ばして、勾配屋根の状況を確認



## (4) 指定箇所の写真撮影

現況確認の実施時に「4. 指定箇所の写真撮影」に記載された箇所の写真を撮影します。**不具合事象が発見された場合は、1つの事象につき1枚以上の写真を撮影**します。

戸建住宅の現況確認で撮影する写真		
建物全景	外部シーリング	居室内観(1枚)
バルコニー・屋上(いずれか1枚)	—	—



## 2. 確認の対象

### (1) 戸建住宅

建物 外部	<b>確認の流れ</b> 	①	建物の外周部をぐるっと一回りして、外壁に目立つクラック(ひび割れ)がないか、外部シーリングに切れや欠け等が生じていないか確認します。
		②	バルコニーや屋上がある場合は、立ち入って防水材のコンディションを確認します。
	<b>外壁/外部シーリング</b> (外部シーリングは露出している場合に確認)		<b>【外 壁】</b> 規定値以上のひび割れが生じていないか <b>【外 壁】</b> 目立つひび割れは生じていないか <b>【外部シーリング】</b> シーリングに切れや欠けが生じていないか
	<b>バルコニー</b> (バルコニーのある建物の場合に確認)		床にぐらつきが発生していないか 防水材に欠けや剥がれが生じていないか
	<b>屋上</b> (屋上のある建物の場合に確認)		防水材に欠けや剥がれが生じていないか
建物 内部	<b>確認の流れ</b> 	①	建物内部を一回りして、天井や内壁に雨染みがないか確認します。
		②	床のコンクリートが露出している場合は、各階 1 箇所の床の傾斜を測定します。
	<b>床</b> (コンクリートが露出している場合に確認) (傾斜は、各階 1 箇所を計測して確認)		規定値(6/1000)以上の傾斜が生じていないか
	<b>内壁・天井</b>		雨染みが付いていないか

- 👉 上記のほか、建物の内外にコンクリートの露出がある場合は、その部分も確認します。
- 👉 移動できない家具や設備で隠れている部分の確認は不要です。
- 👉 現況確認の結果に関係なくメンテナンスを予定している箇所の確認は、省略しても構いません。

## (2) 共同住宅

共同住宅	
確認の流れ 	① 建物の外周部をぐるっと一回りして、外壁や基礎に目立つクラックや欠けがないか、外部シーリングに目立つ切れや欠け等が生じてないか確認します。
	② 共用廊下(開放廊下)がある場合は、指定階の共用廊下からも確認を行います。この際、併せて共用廊下の防水材のコンディションの確認を行います。 <b>(確認は、上階から行っても、下階から行っても構いません)</b>
	③ 指定階の共用部の床に排水勾配のない部分がある場合は、傾斜を測定します。
	④ エレベーターホール等、指定階の共用部に部屋うちになっている部分がある場合は、内壁・天井に雨染みがないか確認します。
	⑤ 屋上がある場合は、立ち入って防水材のコンディションの確認を行います。 <b>(確認を上階から行う場合は、屋上から確認を開始します)</b> <b>アパート・マンションに関係なく、住戸内に立ち入っての確認は行いません。</b>
建物外部	<b>外壁/外部シーリング</b> (外部シーリングは露出している場合に確認) <ul style="list-style-type: none"> <li>【外壁】 規定値以上の割れや欠けが生じていないか</li> <li>【外壁】 目立つひび割れは生じていないか</li> <li>【外部シーリング】 シーリングに切れや欠けが生じていないか</li> </ul>
	<b>共用廊下(開放廊下)</b> (共用廊下がある建物の場合に確認) <ul style="list-style-type: none"> <li>床にぐらつきが発生していないか</li> <li>防水材に欠けや剥がれが生じていないか</li> </ul>
	<b>屋上</b> (屋上がある建物の場合に確認) <ul style="list-style-type: none"> <li>防水材に欠けや剥がれが生じていないか</li> </ul>
	<b>床</b> (コンクリートが露出しており、かつ排水勾配が施されていない部分がある場合に確認) <ul style="list-style-type: none"> <li>・規定値(6/1000)以上の傾斜が生じていないか</li> </ul>
	<b>内壁・天井</b> (部屋うちになっている部分がある場合に確認) <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨染みがないか</li> </ul>

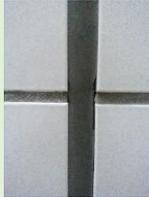
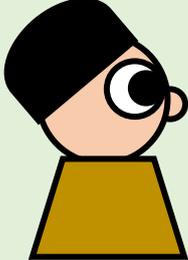
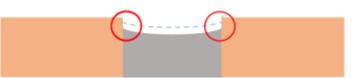
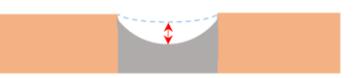
👉 上記のほか、建物の内外にコンクリートの露出がある場合は、その部分も確認します。

👉 現況確認の結果に関係なくメンテナンスを予定している箇所の確認は、省略しても構いません。

## 3. 具体的な確認内容

### (1) 建物外部共通の確認項目

外 壁	
確認の流れ	<p>建物の外周部をぐるっと一回りして、外壁の仕上げ部分に目立つひび割れや欠け(コンクリートにはジャンカも)が生じてないか確認し、ある場合はクラックの幅や深さの確認を行います。(共同住宅は、指定階の共用廊下からも確認を行います)</p> <p>・この項目は、外部シーリングと一緒に確認します。 ・共同住宅では、指定階の確認時に共用廊下の確認も併せて行います。</p>
確認対象	戸 建 住 宅
	共 同 住 宅
	<p>戸 建 住 宅: 建物の内外から確認できる基礎と外壁</p> <p>共 同 住 宅: 建物の外周部と指定階の共用部から確認できる基礎と外壁</p>
確認内容 (不具合事象)	<p>コンクリート打ちっぱなし仕上げとしている部分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☑ ひび割れの幅は、0.5 mm以上か (クラックスケールで確認)</li> <li>☑ 欠けの大きさは、20 mm以上か (ピアノ線を差し込んで深さを確認)</li> <li>☑ 広範囲にわたるひび割れや欠け</li> <li>☑ ジャンカ</li> </ul> <p>コンクリート表面の化粧モルタルのコンクリートまで至らないひび割れは確認の対象となるひび割れには該当しません。</p> <p>0.5 mmは、標準的なシャープペンの芯の太さとなりますので、確認時の参考にしてください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>👉 計測の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>👉 コンクリートの欠け</p> </div> </div>
	<p>タイル等の仕上げ材が施工されている部分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☑ 外壁材を貫通する、またはジョイントを跨ぐひび割れ</li> <li>☑ 外壁材や塗膜の欠け</li> <li>☑ 外壁材や塗膜の浮きや剥がれ (浮きは、必要に応じて打診棒で確認)</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>👉 モルタルのクラック</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>👉 打診の様子</p> </div> </div>

	<h2>外部シーリング</h2>	
<p>確認の流れ</p>	<p>建物の外周部をぐるっと一回りして、外部シーリングに目立つひび割れや欠け、ひび割れ、痩せが生じていないか確認し、ある場合は事象が確認項目に該当していない確認します。(共同住宅は、指定階の共用廊下からも確認を行います)</p> <p>・この項目は、外壁と一緒に確認します                  ・共同住宅では、指定階の確認時に共用廊下の確認も併せて行います。</p>	
<p>確認対象</p>	<p>戸建住宅</p> <p>建物の内外から確認できる外部シーリング (バルコニーからも見える部分も確認)</p>	<p>共同住宅</p> <p>建物の外周部と指定階の共用部から確認できる外部シーリング</p>
<p>確認内容 (不具合事象)</p> 	<p><input checked="" type="checkbox"/> シーリング材に穴が開いている (シーリング材を貫通する切れや欠けがある)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>👉 シーリング材の切れ</span> <span>👉 シーリング材の欠け</span> </p> <p>メンテナンスコース利用時に、外壁のシーリング材に穴が開いていることが確認された場合は、その壁面全体のシーリングの是正が必要です。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> シーリング材から 50cm 程度離れた位置から確認できるひび割れ</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  <div style="margin: 0 10px;"> <p>50 cm</p>  </div>  </div> <p style="text-align: right;">👉 シーリング材のひび割れ</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> シーリング材の肉やせ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 接合部のシーリング材が後退している</li> <li>▶ シーリング材の中央部分が大きく凹んでいる</li> <li>▶ 外壁材との接合部に隙間が生じている</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;">  </div> <p style="text-align: right;">👉 シーリング材の肉やせ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>👉 問題のない状態</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>👉 接合部のシーリング材が後退</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>👉 外壁材との接合部に隙間</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>👉 中央部分が大きく凹んでいる</p> </div> </div> <p>ひび割れや肉やせが確認された場合は、その部分に増打ちや打替え等の処置が必要です。</p>	

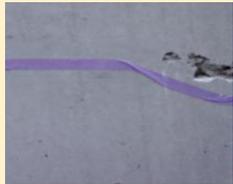
 <b>バルコニー、共用廊下(開放廊下)、屋上</b>					
確認の流れ	<p>バルコニーや屋上に立ち入って、防水材やトップコートのコンディションを確認します。合わせて、普通に歩いて気付くような床のぐらつきがないかを確認します。(共同住宅は、バルコニーではなく指定階の共用廊下を確認します)</p> <div style="background-color: #c00000; color: white; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <b>共同住宅では、この項目は指定階の外壁と外部シーリングと一緒に確認します。</b> </div>				
確認対象	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; background-color: #808000; color: white; text-align: center;">戸 建 住 宅</th> <th style="width: 50%; background-color: #808000; color: white; text-align: center;">共 同 住 宅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 10px;">全てのバルコニー、立ち入りできる屋上</td> <td style="text-align: center; padding: 10px;">指定階の共用廊下(開放廊下)、屋上</td> </tr> </tbody> </table>	戸 建 住 宅	共 同 住 宅	全てのバルコニー、立ち入りできる屋上	指定階の共用廊下(開放廊下)、屋上
戸 建 住 宅	共 同 住 宅				
全てのバルコニー、立ち入りできる屋上	指定階の共用廊下(開放廊下)、屋上				
確認内容 (不具合事象)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 防水材を貫通するひび割れや欠け</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 大きく口を開いた防水材の端部の剥がれ</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> トップコートの剥がれや表面のひび割れ</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 床のぐらつき</li> </ul> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  <p>👉 共用廊下</p> </div> </div> <div style="background-color: #808000; color: white; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スノコや敷物が敷かれている場合は、移動させて確認します。</li> <li>・ 排水ドレンの接続部分が汚れている場合は、汚れを取り払って確認します。</li> <li>・ エクステリアのバルコニー(ベランダ)は、確認の対象となるバルコニーには該当しません。</li> </ul> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>👉 屋上の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>👉 ドレンの様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>👉 トップコートの剥がれ</p> </div> </div> <div style="background-color: #c00000; color: white; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 20px;"> <p><b>普通に歩いていて気が付くような床のぐらつきは通常起らないので、意識的にぐらつきを確認する必要はありません。</b></p> </div>				

## (2) 建物内部共通の確認項目

床①_(床の傾斜)							
確認の流れ	各階 1 箇所の床について、「縦方向、横方向、斜め方向」の 3 方向の傾きを、デジタル水平器で測定し、6/1000 以上の傾斜が生じていないか確認する。						
確認対象	<table border="1"> <thead> <tr> <th>戸建住宅</th> <th>共同住宅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各階の床の 1 箇所(廊下も可)で、縦、横、斜めの 3 方向</td> <td>指定階の共用部の床の 1 箇所で、縦、横、斜めの 3 方向</td> </tr> <tr> <td> <div style="background-color: red; color: white; padding: 5px;">                     畳の上や、浴室、洗面所、トイレでは、傾斜の測定を行わないでください。                 </div> </td> <td> <div style="background-color: red; color: white; padding: 5px;">                     共用部の床に排水勾配が施されていない部分がある場合に確認します。 (排水勾配のない部分がない場合は確認不要)                 </div> </td> </tr> </tbody> </table>	戸建住宅	共同住宅	各階の床の 1 箇所(廊下も可)で、縦、横、斜めの 3 方向	指定階の共用部の床の 1 箇所で、縦、横、斜めの 3 方向	<div style="background-color: red; color: white; padding: 5px;">                     畳の上や、浴室、洗面所、トイレでは、傾斜の測定を行わないでください。                 </div>	<div style="background-color: red; color: white; padding: 5px;">                     共用部の床に排水勾配が施されていない部分がある場合に確認します。 (排水勾配のない部分がない場合は確認不要)                 </div>
	戸建住宅	共同住宅					
各階の床の 1 箇所(廊下も可)で、縦、横、斜めの 3 方向	指定階の共用部の床の 1 箇所で、縦、横、斜めの 3 方向						
<div style="background-color: red; color: white; padding: 5px;">                     畳の上や、浴室、洗面所、トイレでは、傾斜の測定を行わないでください。                 </div>	<div style="background-color: red; color: white; padding: 5px;">                     共用部の床に排水勾配が施されていない部分がある場合に確認します。 (排水勾配のない部分がない場合は確認不要)                 </div>						
<div style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px;"> <input checked="" type="checkbox"/> 6/1000 以上の傾斜                 </div> <div style="background-color: #000080; color: white; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     デジタル水平器は、勾配(%)表示で測定を行い、小数点第 1 位の数字を 1/1000 の分子の 1 の位に読み替えて傾斜を判断します。 (0.34%の場合は、3.4/1000)                 </div> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;">  </div>							
<div style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; text-align: center;">  </div> <div style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <b>使用する測定器</b> </div> <div style="background-color: #ffff00; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>測定の手軽さからデジタル水平器による計測を推奨していますが、傾きを数値化できるものであれば、レーザーレベル等による計測でも OK です。</li> <li>水平器のサイズは問いませんが、小数点以下が表示されるものを使用してください。 (表示される小数点以下の桁数は問いません。)</li> </ul> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;">  </div>							
測定方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>壁面を縦方向と横方向として測定します。</li> <li>縦横方向とそれぞれ 45°となる角度の方向が斜め方向となるため、そのうちの一方を測定します。</li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>						
報告書	測定結果は、報告書に 1 番大きい値が出た部屋の <b>測定値と階数、部屋名を入力</b> してください。						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">床①</td> <td style="width: 60%; padding: 5px;">                     &lt;この項目は判定欄のほか、傾きの最大値と、最大値を測定した場所の入力が必要です&gt;                      6/1000以上の傾斜 (傾きの最大値( 2 )/1000・計測場所( 1 )階 ダイニングキッチン )                 </td> <td style="width: 25%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>	床①	<この項目は判定欄のほか、傾きの最大値と、最大値を測定した場所の入力が必要です> 6/1000以上の傾斜 (傾きの最大値( 2 )/1000・計測場所( 1 )階 ダイニングキッチン )	○			
床①	<この項目は判定欄のほか、傾きの最大値と、最大値を測定した場所の入力が必要です> 6/1000以上の傾斜 (傾きの最大値( 2 )/1000・計測場所( 1 )階 ダイニングキッチン )	○					
内壁、天井							
確認の流れ	建物内部をぐるっと回って、天井や、窓廻りを含む内壁に雨染みがないかを確認します。						
確認対象	<table border="1"> <thead> <tr> <th>戸建住宅</th> <th>共同住宅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全ての居室</td> <td>指定階の共用部の内壁、天井</td> </tr> <tr> <td></td> <td> <div style="background-color: red; color: white; padding: 5px;">                     共用部に部屋うちになっている部分がある場合に確認します。                 </div> </td> </tr> </tbody> </table>	戸建住宅	共同住宅	全ての居室	指定階の共用部の内壁、天井		<div style="background-color: red; color: white; padding: 5px;">                     共用部に部屋うちになっている部分がある場合に確認します。                 </div>
	戸建住宅	共同住宅					
全ての居室	指定階の共用部の内壁、天井						
	<div style="background-color: red; color: white; padding: 5px;">                     共用部に部屋うちになっている部分がある場合に確認します。                 </div>						
<div style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px;"> <input checked="" type="checkbox"/> 雨染み(建具の周囲も確認)                 </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>☝ 窓枠周辺の雨染み跡</p> </div>							

### (3) 建物の内外にコンクリートの露出がある場合の確認項目

この項目は、基礎・外壁のほか、建物内外にコンクリートの露出部分がある場合に確認します。

バルコニー、共用廊下(開放廊下)	
確認の流れ	建物の内外の露出しているコンクリートに見て分かるひび割れや欠けが生じていないか確認する。ひび割れの大きさと欠けの深さの確認は、脚立等を使わずに手が届く範囲で確認する。
確認対象	戸建住宅
	共同住宅
	全てのバルコニー
	指定階の共用廊下(開放廊下)
確認内容 (不具合事象)	<ul style="list-style-type: none"> <li>☑ ひび割れの幅は、0.5 mm以上か (クラックスケールで確認)</li> <li>☑ 欠けの大きさは、20 mm以上か (ピアノ線を差し込んで深さを確認)</li> <li>☑ 広範囲にわたるひび割れや欠け</li> <li>☑ ジャンカ</li> </ul>
	<p>コンクリート表面の化粧モルタルのコンクリートまで至らないひび割れは確認の対象となるひび割れには該当しません。</p> <p>0.5 mmは、標準的なシャープペンの芯の太さとなりますので、確認時の参考にしてください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>👉 外壁のクラック</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>👉 内壁のクラック</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>👉 外壁の欠け</p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>👉 内壁の欠け</p> </div>



👉 計測の様子



0.5 mmは、標準的なシャープペンの芯の太さとなりますので、確認時の参考にしてください。



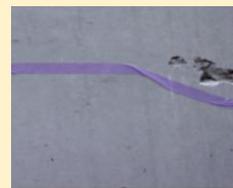
👉 外壁のクラック



👉 内壁のクラック



👉 外壁の欠け



👉 内壁の欠け

## 4. 指定箇所の写真撮影

### (1) 撮影箇所一覧

☞ 撮影箇所ごとに1枚の写真を撮影する。



No.	撮影する写真	
1	全景【必須 共通】	建物全景(全体)の写真を撮影します。
2	外部シーリング	露出した外部シーリングがある場合に、外部のシーリングの写真を撮影します。
3	居室内観【必須 戸建】	任意の居室の内観を、できる限り開口部が写り込むように撮影します。(共同住宅では不要)
4	バルコニー・屋上	バルコニーか屋上がある場合に、いずれかの写真を撮影します。 (共同住宅では屋上 or 開放廊下)
不備	不具合事象	不具合事象が確認された場合に、該当部分の写真を撮影します。

### (2) 撮影イメージ

撮影箇所	全景 <b>【必須 共通】</b>	
ポイント	建物の全景（全体）ができる限り写り込むように撮影します。 <input checked="" type="checkbox"/> 建物全体を収めることが難しい場合は、可能な限り、建物の広い範囲が写り込むように撮影してください。	
撮影箇所	外部シーリング	
ポイント	確認の対象となった外部シーリングを撮影します。 <input checked="" type="checkbox"/> 開口部周囲等の露出したシーリング材を撮影します。	
撮影箇所	居室内観 <b>【必須 戸建】</b>	
ポイント	居室の内観を、できる限り開口部が写り込むように撮影します。 <input checked="" type="checkbox"/> 戸建住宅では必須です。任意の居室を撮影してください。	
撮影箇所	バルコニー・屋上	
ポイント	バルコニー or 屋上(共同住宅では屋上 or 開放廊下)がある場合に撮影します。 <input checked="" type="checkbox"/> できる限り広い範囲が映り込むように撮影します。 <input checked="" type="checkbox"/> 取外しができる敷物が敷いてある場合は取り外して撮影します。	
撮影箇所	不具合事象	
ポイント	事象が確認された場合に、その内容が確認できるように撮影します。 <input checked="" type="checkbox"/> 1つの事象について1枚の写真を撮影します。	



**ご意見・ご不明点は下記連絡先までお問い合わせください。**

**瑕疵検査室 TEL：03-5408-8484**